

企業使命感

土屋グループの創業者「土屋公三」の名前は土地と家屋についての仕事を天職とし、お客様、会社という「三つの人の公」のために、物質的・精神的・健康的な「豊かさの人生を創造すること」を表し、シンボルマークはその「三つの人」と「公」を象徴しております。シンボルカラーは、積極果敢な行動力と情熱を込めて、「紅」。
土屋グループはこれを企業使命感としています。

季刊
**一億の
住まいと財産**
2025年4月
NO.212
春

P2▼3
本物をつくる 土屋ホームの挑戦

P4▼9 土屋ホーム
我が家自慢

●CARDINAL HOUSE 仙台本店
●LIZNAS 岩見沢支店

P10▼11 土屋ホームトピオ
ハッピーリフォーム

P12▼13 土屋ホーム不動産販売
オーナーさまに聞きました！
建売住宅にしよう！と決めた理由。

P14▼15 <コラム>
グリーンライフ、はじめましょ♪

P16 おうちスタイリスト米村大子の
キレイなおうち、ステキな毎日

P17 TEAM TSUCHIYA PRESENTS
ジャンプびぎな〜ず

P18 メンテナンスのおはなし
“L”の字“で磨く窓

P19
北の銘菓deほっこり&プレゼント

P20
キラキラおたより



LESSON
15

水回り空間の収納について①
棚のモノが丸見え?!を解決



色や材質をそろえることで洗練された印象に変わります



左はドライヤー、中央は折り畳み式バケツ、右はハンガーなどを収納。上から見ればそれらが一目瞭然です。



歯ブラシや石けんなどのストック、コンタクトレンズ用品などごまかしたものを収納。ホコリ対策にはふた付きで!

2025年は、水回り空間の生活感をなくす収納スタイルをご提案します! 1回目はユーティリティーで、もしも棚のモノが丸見えだったら…の解決方法について。

ユーティリティーは狭いながら形や用途、大きさも異なるモノがたくさん混在するところ。そこで毎日気分よく過ごせる快適空間にするために、機能的で見た目もスッキリさせてくれる収納アイテムを使った“見せない化”収納にはいかがでしょうか?

写真aでは、プラスチック製のA4ファイルボックスを活用しています。高さがあるので中のモノは見えずらく、棚の奥行を使って引き出し感覚でモノが整理でき、横の空間も節約可能です。

ファイルボックスよりも大きいbのようなタイプも軽くて使い勝手がよいのでおすすめです。こちらもプラスチック素材のため、汚れれば水洗いができるメリットがあります。

cは天然素材のラタンのかご。見た目が無機質にならない天然素材の存在は、写真のように空間をやさしく、魅力的にしてくれます。湿気があると形がゆがむなどのデメリットはありますが、水のついた手で触らないなど気を付ければそれほど問題にはならないでしょう。

次は、あえて“見せる化”する方法について。dは洗濯洗剤と柔軟剤、おしゃれ着用洗剤です。これらはもともと詰め替えて使用していたことから、同じ規格のボトル

にそろえ、見せることを前提にしています。ポイントは、ボトルの色をそろえること。また、周囲のモノとも相性の良い色を選べば、たとえ丸見えになっても、洗練された印象を与えることができます。

小さな整理収納体験してみませんか?
1Boxチャレンジ
薬箱や衣装ケース、下駄箱、冷蔵庫など「一箱分」を、収納のプロのアドバイスを受けながらお片付け体験してみませんか? 無料の60分オンラインレッスンです。開催日時など詳細は2次元コードをチェック♪